

手軽に仕分け・ネジ締めも

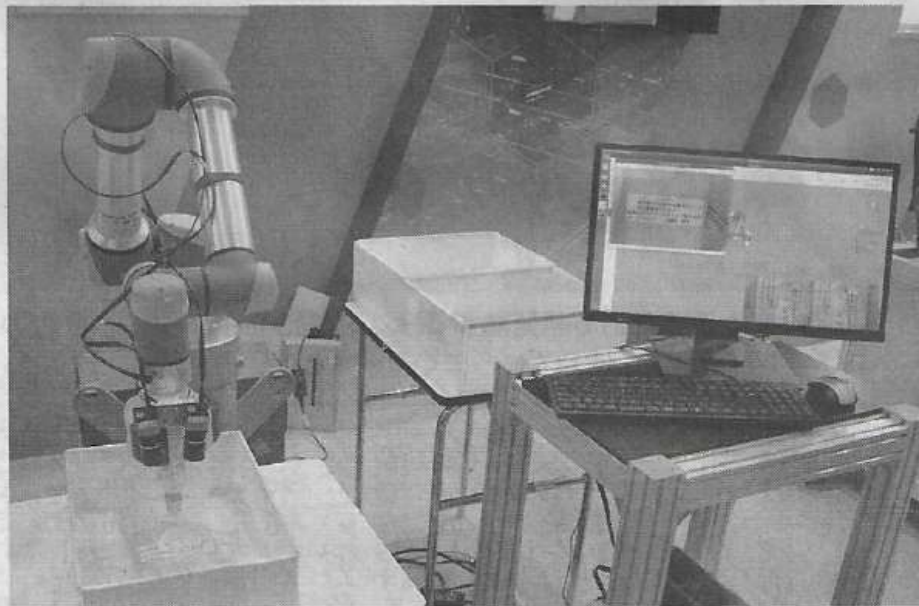
郵便物仕分け装置

高島ロボマーケが開発

ビジョンシステムを使って郵便物を自動で仕分けるシステムを、専門商社でロボットSierでもある高島ロボットマーケティング（東京都千代田区）が開発した。約1800万円で今春発売予定。1月21日まで東京ビッグサイトで開かれたロボット開発・活用展「第6回ロボデックス」で披露した。

「郵便局で使われる大規模な高速仕分けシステムは要らないが、ウチの工場に毎日届く納品書や請求書を仕分けしてくれる装置があったらなあというニーズに応えた」（技術部の日原清氏）と言

う。カメラのOCR機能で文字を照合してAIで判定し、ロボットの動作で仕分けトレイに分類する。漢字も認識するが、文字が認識できない場合には企業のロゴなどを追加認識して仕分けするという。やや高価に思えるが、「午前中は仕分け作業に、午後からは出荷作業にと様々な使い方ができるとアピールする。」



Cambrian ビジョンシステムの画像認識で郵便物の形状、OCR文字認識、企業ロゴ画像スキャンを同時に行いAI判定する。